緑肥作物の品種と栽培法

第3報 岩手県南部におけるライコムギの生育特性

大野 靖雄・神山 芳典*・小野 剛志*

（岩手県立農業試験場県南分場・岩手県立農業試験場）

Varieties and Cultural Methods of Green Manure Crops

3. Growth characteristics of triticale in Southern Region of Iwate Prefecture

Yasuo ŌINO, Yoshinori KAMIYAMA* and Tsuyoshi ONO*

(Kennan Branch, Iwate-ken Agricultural Experiment Station)

*Iwate-ken Agricultural Experiment Station

1 はじめに

岩手県南部における野菜振興には高収益作付体系を前提とした圃場の地力維持増強を図る必要がある。緑肥作物として従来から夏秋型野菜類の冬期休耕に利用されているライムギ（ペクター）と比較しながら新作物ライコムギ（アメリカ育成）の特性について検討した。

2 試験方法

(1) 試験年度

播種：昭和62年
刈取り：昭和63年

(2) 試験場所

岩手農試県南分場沖積土壌

(3) 供試品種

(標準) ライムギ（ペクター）
(比較) ライコムギ：
B・631 J, GRACE, B・858, B・943, JENKINS, B・756

(4) 資料概要

1) 播種期

10月7日

表1 生育および生草重（地上部・地下部）

(刈取時期：出穂時）

<table>
<thead>
<tr>
<th>出穂期（月/日）</th>
<th>草丈（cm）</th>
<th>草数（本/m²）</th>
<th>地下重（kg/10a）</th>
<th>同左比（%）</th>
<th>地下重（kg/10a）</th>
<th>同左比（%）</th>
<th>総重（kg/10a）</th>
<th>同左比（%）</th>
<th>総重（kg/10a）</th>
<th>同左比（%）</th>
<th>地上部</th>
<th>地下部</th>
<th>地上部</th>
<th>地下部</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ライムギ</td>
<td>1. (標準)ペクター</td>
<td>5.15</td>
<td>111</td>
<td>529</td>
<td>3529</td>
<td>100</td>
<td>723</td>
<td>100</td>
<td>4252</td>
<td>100</td>
<td>83.0</td>
<td>17.0</td>
<td>787</td>
<td>100</td>
</tr>
<tr>
<td>ライコムギ</td>
<td>2. B・631 J</td>
<td>14</td>
<td>103</td>
<td>407</td>
<td>3756</td>
<td>106</td>
<td>819</td>
<td>113</td>
<td>4575</td>
<td>108</td>
<td>82.1</td>
<td>17.9</td>
<td>774</td>
<td>98</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>3. GRACE</td>
<td>17</td>
<td>94</td>
<td>519</td>
<td>4366</td>
<td>124</td>
<td>906</td>
<td>125</td>
<td>5272</td>
<td>124</td>
<td>82.9</td>
<td>17.2</td>
<td>777</td>
<td>99</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>4. B・858</td>
<td>16</td>
<td>100</td>
<td>619</td>
<td>4607</td>
<td>131</td>
<td>1074</td>
<td>149</td>
<td>5681</td>
<td>134</td>
<td>81.1</td>
<td>18.9</td>
<td>894</td>
<td>114</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>5. B・943</td>
<td>24</td>
<td>91</td>
<td>726</td>
<td>5405</td>
<td>153</td>
<td>1986</td>
<td>275</td>
<td>7391</td>
<td>174</td>
<td>73.2</td>
<td>26.9</td>
<td>924</td>
<td>117</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>6. JENKINS</td>
<td>31</td>
<td>134</td>
<td>521</td>
<td>5523</td>
<td>157</td>
<td>1424</td>
<td>197</td>
<td>6947</td>
<td>163</td>
<td>79.5</td>
<td>20.5</td>
<td>1143</td>
<td>145</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>7. B・756</td>
<td>30</td>
<td>103</td>
<td>633</td>
<td>4663</td>
<td>132</td>
<td>1195</td>
<td>165</td>
<td>5858</td>
<td>138</td>
<td>79.6</td>
<td>20.4</td>
<td>835</td>
<td>106</td>
</tr>
</tbody>
</table>

から刈り上げ、水洗後に根の表面水分を除去して計量した。

(1) 出穂期 ペクターに比較して、B・631 Jは1日早く、GRACE, B・858は1～2日遅く、B・943は9日、JENKINS, B・756は15～16日遅かった。
ライコムギの出穂期はペクターに比べ1～2日後とかなり遅い品種に分類された。

(2) 草丈・草数、出穂期における草丈はペクター (111cm) に比較して、出穂の最も遅いJENKINSは31cm高く、他の品種は8～20cm低い。地数はB・858, B・943, B・756が多く推移した。観察ではライコムギの稈径はペクターに比べ、太い傾向であった。

(3) 総重 上位はペクターに比較して、B・631 J, GRACE, B・858, B・943, JENKINS, B・756が著しく差があった。
出荷期と経時（地上部+地下部）

供試したライコムギの品種はいずれもライムギより多収であった。

地下部はペトクーダーに比べて、ライコムギはいずれの供試品種とも重かった。特に出荷の早いB・943、JE NKiNS、B・756は65～175%も重いのが特徴的で、総収量は20.4～26.9%であった。したがって、総収量はライコムギが8～74%多収であった。

（4）乾燥重　地上部の乾物生産量はB・631J、GRACEがほぼペトクーダー並みで、他の品種はいずれも高く、出荷の遅いJE NKiNSが45%多収であった。乾物生産量もほぼペトクーダー並から多収を示すので、緑肥としての用途ももちろんあるが、飼料作物として有望と思われる。

（5）病害　ペトクーダーに比べ、ライコムギはさび病は少ないが、うどん病、赤かび病が多い傾向であり、黒穗病についてはB・858にリキの発生が見られたが、他の品種については見られなかった。

<table>
<thead>
<tr>
<th>品種</th>
<th>株の開間</th>
<th>例付</th>
<th>病害</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ライムギ</td>
<td>1. (標)ペトクーダー</td>
<td>4</td>
<td>4.5</td>
</tr>
<tr>
<td>ライコムギ</td>
<td>2. B・631J</td>
<td>3</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td>&quot;</td>
<td>3. GRACE</td>
<td>3</td>
<td>3.5</td>
</tr>
<tr>
<td>&quot;</td>
<td>4. B・858</td>
<td>3</td>
<td>3.5</td>
</tr>
<tr>
<td>&quot;</td>
<td>5. B・943</td>
<td>3</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>&quot;</td>
<td>6. JENKINS</td>
<td>4</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td>&quot;</td>
<td>7. B・756</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

4 ま と め

以上の結果から、新作物ライコムギは岩手県南地方でも出荷期ころまで緑肥作物として利用可能と考えられる。

（1）総収量でライコムギはライムギに比較して多収で、特に地下部重が大きいのが特徴である。また、地上部の乾物生産量も多いことから家畜の飼料（青草、乾草、サイレージ利用）としても有望と思われるが、今後の検討を要する。

（2）緑肥として利用する場合に、越冬後の早い鋸込み（5月上〜中旬）にはペトクーダー並に生育の早いB・631J、GRACE、B・858が、遅い時期の鋸込み（5月中旬〜下旬）はB・943、JENKINS、B・756が適する。

（3）出荷後のライコムギはライムギに比較して、病害広延性は強いとはいえないので、緑肥利用のみでなく付加価値を高めるために飼料作物として利用する場合は耐病性品種が望まれる。